

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（くしろねむろ） 釧路根室森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧東部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区の対象は、北海道の東部に位置する釧路根室森林計画区の国有林野106,052haである。</p> <p>この地域は知床世界自然遺産、国立公園、道立公園、ラムサール条約登録湿地、緑の回廊等が多数設定されており、自然条件は、夏季の低温、冬季の季節風、劣悪な土壌等、森林の生育環境としては厳しい地域である。主な河川は、さけ・ます漁業資源管理河川に設定されており、国有林は上流域から中流域に位置し、水道水だけでなく基幹産業である漁業振興の面からも水質保全の確保等、国有林の役割は重要視されているとともに、北海道遺産として認定されている「格子状防風林」は、農業・畜産業・住環境の保全に寄与していることから、国土保全（防風）機能が期待されている。</p> <p>全域が世界自然遺産となっている知床森林生態系保護地域では、世界的に類い希な自然環境を将来にわたり保全することが求められており、海別岳から斜里岳に続く稜線部の森林やラムサール条約登録湿地の野付半島の森林、国内の希少野生動物植物が生息・生育する森林では、貴重な自然環境の保全を図る必要がある。</p> <p>また、再生可能資源としての重要性が高まりつつある木材等の林産物の持続的な供給や森林整備を通じて、地域産業の振興等に寄与することも期待されている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">1,074 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>16,895 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>33.3 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.6 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>2,079,301 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,074 ha			保育面積	16,895 ha		路網整備	開設延長	33.3 km			改良延長	3.6 km	総事業費			2,079,301 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,074 ha																				
		保育面積	16,895 ha																				
	路網整備	開設延長	33.3 km																				
		改良延長	3.6 km																				
総事業費			2,079,301 千円																				
費用対効果分析	総 便 益（B）	24,695,142 千円																					
	総 費 用（C）	2,631,288 千円																					
	分析結果（B / C）	9.39																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

別紙様式 7

整理番号 2

便 益 集 計 表

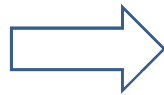
事業名：森林環境保全整備事業
 事業実施地区名：根室釧路森林計画区
 （都道府県名：北海道）

事業実施主体：北海道森林管理局
 根釧東部森林管理署

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	5,033,014	
	流域貯水便益	2,468,587	
	水質浄化便益	4,203,436	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,267,410	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	1,313,471	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	449,799	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	533,041	
	木材利用増進便益	41,954	
	木材生産・確保増進便益	221,139	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	130,795	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	90,344	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	153,017	
	森林管理等経費縮減便益	2,295	
	森林整備促進便益	7,979	
総便益(B)		24,695,142	
総費用(C)		2,631,288	
費用便益比(B/C)		9.39	

森林環境保全整備事業 釧路根室計画区(北海道) 事業概要図



対象計画区拡大図

